

平成28年度

事業計画

収支予算

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

一般財団法人 川崎港湾福利厚生協会

事業計画

(1) 事業概況

平成27年度の我が国の経済は、4月の日経平均株価が19,000円台から2月には16,000円台まで下落した通り下振れ傾向が明らかとなってきました。

さて、平成28年度は、円安から円高傾向へのシフト、中国など海外経済の減速による輸出関連企業の収益低下もあり、日銀はマイナス金利導入に踏切りました。同政策の効果については、意見の分かれるところであり、GDPが2四半期連続マイナスの見方が出ている中、財政出動への期待や夏の参議院選挙を睨んだ消費税率引上げ判断先送りの可能性もあります。海外については、米国大統領選の帰趨とTPP、北朝鮮の核問題、南シナ海や中近東情勢、原油市場の動向他予断を許さない情勢が続いています。

このような中、平成27年の川崎港のコンテナ総取扱量の内、外貿は昨年1月から12月までの累計で76,787TEU（川崎市港湾局発表速報値）、前年比162%と大幅な伸びが続いています。一方、川崎税関支署の貿易額統計（暦年・速報）によると、輸出は対前年比7.6%減、輸入は同24.7%減となりました。自動車輸出の大幅増を鉄鋼輸出減や石油製品輸出減で打消す結果となりました。

懸案となっていた国際コンテナ戦略港湾『京浜港』問題ですが、去る3月4日、国土交通省から『横浜川崎国際港湾』が正式に本則の統合港湾運営会社としての指定を受けました。今後の取組みが期待されています。

平成27年度の当協会は、各センターの維持管理に取組んだ他、東扇島福利厚生センター新館については、賃料改訂を行いました。また、事業活性化・施設整備検討合同委員会を通じ、懸案事項についての検討を重ねています。

新館建設、本館改造以降これまでコンビニ・食堂・診療所・理髪店は、数多くの人々に利用され、東扇島福利厚生センターの機能は、まさにセンター（中心）としての役割が期待されていると思われれます。各施設の利用状況は、決算理事会で報告します。

平成28年度の予算については、一昨年6月の港湾福利分担金1円の凍結解除を踏まえつつ、前年度に実施した事業を精査した上での編成となりました。協会運営の健全化のために事業の見直し、経費の削減が求められます。凍結前の水準を念頭に置きながら、協会の目的により適合した支出に努めます。

本年度は、理事、監事、評議員の任期満了の年にあたりますので、辞任等による理事、評議員の交代も含め、5月の各機関会議にて手続を行う予定です。

本年度も引き続き港湾福利厚生環境の整備充実を図り、適切な協会運営と諸施策の推進に努めてまいります。今後の課題として各センターの有効活用や事業運営の在り方の検討等があります。費用対効果、将来の在り方、公平性などを踏まえ、港湾関係者の皆様のご協力を頂き適切な対応をしてまいります。また、千鳥町再整備計画の動向も注視してまいります。今後とも当協会の関係者、港湾諸団体、関係行政機関の皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

(参考) 協会分担金の収納実績 (過去6年分)

単位: 千円

平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
29,466	29,353	28,126	28,472	35,847	39,120

注) 平成27年は見込み

(2) 平成28年度の主たる事業計画

1. 各センター、休憩所の適切なる管理運営
経年劣化した老朽設備の補修を実施する。
 - ① 千鳥センター本館外壁、屋上防水工事・・・・・・・・日港福助成金
 - ② 扇町第三休憩所雨漏り防止、外壁断熱工事・・・・・・・・日港福助成金
 - ③ 緊急かつ必要な修繕、備品の交換・・・・・・・・協会資金
2. 各委員会の見直しと活性化
時宜に適応した議論を行うため、委員会の在り方を検討する。
3. 各センター及び休憩所の有効活用と将来構想検討
行政並びに関係者の方々のご理解、ご協力を仰ぎ適切な対応を図る。
4. 円滑な新法人運営
円滑な新法人運営のために、新法人の税務・会計等の定例講習会に積極的に参加する。
5. 川崎港湾労働者及び港湾関係団体への助成事業
 - ①川崎港湾労働組合協議会の実施事業への協力と助成
 - ②シーパレス並びに提携保養所利用者への助成
 - ③港湾防災川崎支部行事への助成
 - ④物故者霊前祭の実施
 - ⑤川崎みなと祭り、海の日行事への協賛と助成
 - ⑥スポーツ協会との共催による体操教室の開催と参加者への助成
 - ⑦その他助成事業の検討
6. 関係行政機関との情報交流及び定例業務報告
7. 川崎港湾関係諸団体への協力と協調
8. 日港福及び他の厚生協会との情報交流
 - ①全国港湾福利厚生協会専務理事会
 - ②東日本厚生協会協議会
 - ③十港専務理事会
 - ④全国厚生協会実務者研究会
9. 協会運営の効率化及び業務改善の推進
10. その他必要な事業

以上

平成28年度正味財産増減計算書(予算)

[自平成28年4月1日 ~ 至平成29年3月31日]

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常収益			
基本財産運用益	20	20	0
特定資産運用収益	32	5	27
港湾福利分担金収入	36,000	36,000	0
施設整備事業助成金収入(日港福)	5,730	5,440	290
千鳥センター・第3休憩所	5,730	0	5,730
第2休憩所・東本館感染症対策	0	5,440	△ 5,440
	0	0	0
事業収益	66,529	57,175	9,354
寮賃貸料収益	16,229	16,229	0
施設貸与料	37,903	30,457	7,446
会議室利用料	131	159	△ 28
駐車場収益	5,680	3,568	2,112
売店・自販機収益	6,106	6,282	△ 176
ランドリー収益	480	480	0
受取補助金等	5,795	5,931	△ 136
減価償却振替額(東扇島本館改修)	5,795	5,931	△ 136
雑収益	2	1	1
受取利息(普通預金)	2	1	1
経常収益 計	114,108	104,572	9,536
2. 経常費用			
事業費	101,852	111,767	△ 9,915
人件費	27,386	30,843	△ 3,457
役員報酬	4,414	4,410	4
給料手当	14,849	19,634	△ 4,785
事務委託費	5,009	3,259	1,750
退職給付費用(退職引当金繰入)	240	360	△ 120
福利厚生費	2,874	3,180	△ 306
その他経費	35,752	36,257	△ 505
売店仕入費	2,608	2,968	△ 360
旅費交通費	458	458	0
通信運搬費	688	655	33
消耗什器備品費	1,598	1,315	283
消耗品費	1,109	926	183
修繕費	844	635	209
燃料費	522	507	15
電気料	4,238	4,549	△ 311
水道料	1,480	1,536	△ 56
衛生費	9,949	9,621	328
賃借料	36	36	0
火災保険料	561	560	1
自動車保険料	166	154	12
リース料	2,447	2,051	396
保守管理費	761	761	0
警備料	1,450	1,450	0
租税公課	1,978	1,961	17
雑費	1,242	1,305	△ 63
宣伝費	54	54	0
助成費	3,563	4,755	△ 1,192
慰霊祭・竣工式	0	0	0
施設整備費	13,750	12,072	1,678
減価償却費(減価償却引当金繰入)	24,964	32,595	△ 7,631

平成28年度正味財産増減計算書(予算)

[自平成28年4月1日 ~ 至平成29年3月31日]

(単位 : 千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	16,114	14,812	1,302
人件費	4,579	4,981	△ 402
役員報酬	1,890	1,890	0
給料手当	269	342	△ 73
事務委託費	1,755	1,755	0
退職給付費用(退職引当金繰入)	156	442	△ 286
福利厚生費	509	552	△ 43
その他経費	11,430	9,726	1,704
旅費交通費	296	233	63
通信運搬費	121	150	△ 29
消耗什器備品費	53	35	18
消耗品費	92	102	△ 10
修繕費	10	10	0
賃借料	21	20	1
リース料	745	861	△ 116
保守管理費	124	124	0
租税公課	1,726	964	762
諸会費	740	496	244
雑費	606	559	47
宣伝費	29	29	0
渉外費	1,400	1,030	370
慶弔費	250	250	0
会議費	1,553	1,530	23
助成費	1,508	1,351	157
海の記念行事費	337	309	28
みなと祭り行事費	460	432	28
賀詞交歓会	600	600	0
慰霊祭・竣工式	759	641	118
減価償却費(減価償却引当金繰入)	105	105	0
経常費用 計	117,966	126,579	△ 8,613
当期経常増減額	△ 3,858	△ 22,007	18,149
資金ベース(減価償却引当金・退職引当金を除く) での当期経常損益	15,812	5,564	10,248

収支予算書

実施事業・その他・法人会計

Page : 1

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	20	20	0	
基本財産利息収入	20	20	0	
特定資産運用収入	5	28	-23	
特定資産利息収入	5	28	-23	
港湾福利分担金収入	36,000	27,840	8,160	
第1次交付金収入	36,000	27,840	8,160	
施設設備事業助成金収入	5,440	5,830	-390	
第二次交付金収入	5,440	5,830	-390	
事業収入	57,175	56,324	850	
寮賃貸収入	16,229	16,229	0	
施設貸与料	30,457	29,701	755	
売店収入、自販機収入	6,282	6,037	244	
会議室利用料	159	158	0	
ランドリー収入	480	480	0	
駐車場収入	3,568	3,718	-150	
補助金等収入	5,931	5,931	0	
受取補助金等振替額(指定⇒一般)顕彰碑	23	0	23	
受取補助金振替額(指定⇒一般)顕彰碑外	5,908	0	5,908	
民間補助金収入	0	5,931	-5,931	
雑収入	1	3	-2	
受取利息収入	1	3	-2	
【事業活動収入計】	104,572	95,977	8,594	
2. 事業活動支出				
事業費支出	111,767	109,151	2,615	
役員報酬支出	4,410	4,973	-563	
事)売店仕入支出	2,968	2,722	246	
給料手当支出	19,634	16,919	2,714	
退職金支出	360	360	0	
福利厚生費支出	3,180	3,275	-95	
旅費交通費支出	458	417	40	
通信運搬費支出	655	740	-85	
消耗什器備品費支出	1,315	1,315	0	
事)リース料支出	2,051	1,729	321	
消耗品費支出	926	971	-45	
事)施設整備支出	12,072	12,136	-64	
修繕費支出	635	545	89	
事)建物減価償却支出	8,020	8,019	0	
事)建物付属減価償却支出	15,758	15,756	1	

収支予算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事) 構築物減価償却支出	6,523	6,522	0	
事) 什器備品減価償却支出	2,294	2,294	0	
燃料費支出	507	512	-5	
光熱水料費支出	1,536	1,453	82	
賃借料支出	36	53	-17	
事) 電気料支	4,549	4,413	135	
事) 火災保険料支出	560	559	0	
事) 自動車保険料支出	154	171	-17	
租税公課支出	1,961	2,030	-69	
助成金支出	0	1,260	-1,260	
宣伝費支出	54	53	0	
事務委託費支出	3,259	4,551	-1,292	
雑費支出	1,305	1,709	-404	
東扇島センター施設利用助成金・保養施設利用助成金	3,075	0	3,075	
助成金	1,680	1,680	0	
事) 衛生支出	9,621	9,563	57	
事) 保守管理費支出	761	989	-228	
事) 警備料支支出	1,450	1,450	0	
管理費支出	14,812	15,311	-499	
役員報償支出	1,890	2,131	-241	
給料手当支出	342	335	6	
退職金支出	442	442	0	
福利厚生費支出	552	563	-11	
会議費支出	1,530	1,489	41	
旅費交通費支出	233	211	21	
通信運搬費支出	150	147	2	
消耗什器備品費支出	35	35	0	
消耗品費支出	102	102	0	
修繕費支出	10	10	0	
賃借料支出	20	28	-8	
租税公課支出	964	756	208	
事務処理費支出	1,755	2,450	-695	
諸会費支出	496	503	-7	
リース料支出	861	739	121	
渉外費支出	1,030	1,030	0	
宣伝費支出	29	29	0	
保守管理費支出	124	109	14	
慶弔費支出	250	200	50	
雑費支出	559	562	-3	
助成費支出	1,351	1,351	0	

収支予算書

実施事業・その他・法人会計

Page : 3

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
海の記念行事費支出	309	309	0	
みなと祭り行事費支出	432	432	0	
賀詞交歓会支出	600	648	-48	
構築物価償却支出	105	104	0	
慰霊祭支出	641	591	49	
【事業活動支出計】	126,579	124,462	2,116	
【事業活動収支差額】	-22,007	-28,485	6,478	
Ⅱ投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
【投資活動収入計】	0	0	0	
2.投資活動支出				
【投資活動支出計】	0	0	0	
【投資活動収支差額】	0	0	0	
Ⅲ財務活動収支の部				
1.財務活動収入				
【財務活動収入計】	0	0	0	
2.財務活動支出				
【財務活動支出計】	0	0	0	
【財務活動収支差額】	0	0	0	
Ⅳ予備費支出				
当期収支差額	-22,007	-28,485	6,478	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	-22,007	-28,485	6,478	